## 都市再生整備計画 事後評価シート 中野区南部地区

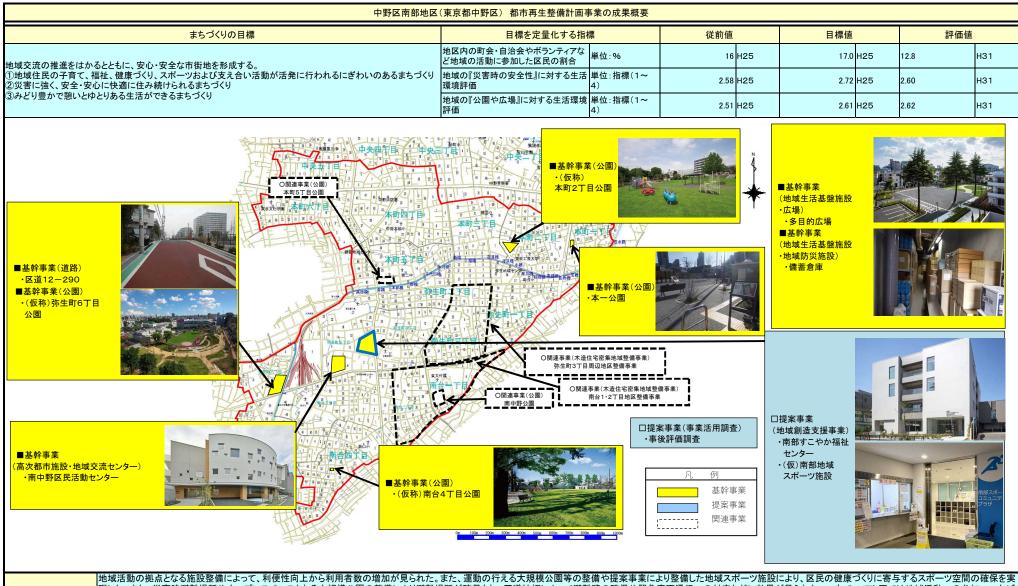
令和2年9月

東京都中野区

## 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名 中野		中野区			也区名		中野区南部地区		面積	296 ha		
交付期間	平成26年度~令和元年度		事後評価実	事後評価実施時期 令和元年度				交付対象事業費		12903.5百万円 国費率		国費率	0.4		
										事業名					
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	【道路】区道12-290線、【公園】(仮称)弥生町6丁目公園、本一公園、(仮称)本町2丁目公園、【地域生活基盤施設(備蓄倉庫)】南部すこやか福祉センター、【地域生活基盤施設(多目的広場)】南部すこやか福祉センター、【高次都市施設(地域交流センター)】南中野区民活動センター												
	スルロバニチボ	提案事業	【地域創造支援事業(南部すこやか福祉センター)】南部すこやか福祉センター、【地域創造支援事業((仮)南									) 】南部すこやか福			
	I		事業名						削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から			-									-		
	事業	提案事業	-						-				-		
	新たに追加し	基幹事業	(仮称)南台4丁目公園						まちづくり目標達成の確度を高めるために追加した				影響なし		
	た事業	提案事業	-						-				-		
	交付期間	当 初	平成26	6年度~平原	人们初间以及文门已经			きたった				1年延伸した。指	こ。指標及び数値目標は、計画年次の延伸に合わせ、上方修正 ┃		
	の変更 変 更		平成26年度~平成31年度			指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標				従前		目標化		数 モニタリング	植動無値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				単位		基準年度		目標年度	モータリング	評価値	连队贤	建成見込み	計画地区内のうち、基幹事業の整備を	アル時期	
	指標1	地区内の町会・自治会や   ボランティアなど地域の活   動に参加した区民の割合		%	16.4	H25	17.0	H31	-	12.8	Δ	あり なし O	行った町丁での数値の向上や施設利用約 況の向上は見られ、経年での数値の推移 も微増傾向にあったが、計画最終年度で のスポット的な指標の減少があったため、 地域活動の参加定着へはつながらなかった。	-	
	指標2	地域の『災害時の安全性』 に対する生活環境評価		指標(1~ 4)	2.58	H25	2.72	H31	-	2.60	Δ	ありなし 〇	大規模公園における災害時オープンス ペースの確保など、災害時の安全性に寄 与する整備を行った施設や公園等の災害 時利用について、十分な周知が図れず、 環境評価の向上につながらなかった。		
	指標3	標3 地域の『公園や広場』に対 する生活環境評価		指標(1~ 4)	2.51	H25	2.61	H31	<del>-</del>	2.62	0	あり なし	複合遊具の導入や、区としての新たな公園管理方法の導入(指定管理者による管理)などを行った。また、地区におけるのでしたりりの公園面積の増加や、みどり率の改善が図られる見込みである。		
		指 標		単位	従前		目標化		数	値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1 ※2)指標1の補 で 足		団体	89	<u>基準年度</u> H25		目標年度	モニタリング	<mark>評価値</mark> 113	達成度※1	達成見込み	(総合所見) 地域活動の活性には、活動環境の確保 加え、定期的な利用を促す魅力ある施設 が不可欠なファクターである。施設整備に よる利便性向上により、定期的な団体利 用の増加につながった。	<mark>予定時期</mark> □ □ □ –		
	その他の 数値指標2 ※2)指標2の補 足	数値指標2 ※2)指標2の補 地区内の平均不燃領域率		%	58.8	H25				62.7			市街地の延焼のしにくさを表す指標であ り、木密地域における安全度を示す不燃 領域率は、計画地区内の平均において着 実に改善した。	-	
	その他の 数値指標3 ※2)指標1の補 足		も会・NPO活動・ などの地域の活 区民の割合	%	12.4	H25				21.9			地域における活動は多様であり、町会活動などの団体活動以外の子ども会やサークル活動など自主的・個人的な活動等について、参加者割合の増加が見られ、地	-	
4) 定性的な効果	区民の声や区民プ									く遊べる場が増え	✓ えたこと、地域の	✓ 活動の中心となる	域活動への関心が高まった。   	    の利便性が向上した	
発現状況	ことなど、好意的な声が複数寄せられた。 実施内容 実施状況 今後の										今後の対応方針等				
5)実施過程の評価	モニタリ							失地水が、 市再生整備計画に記載し、実施できた。 市市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。 市市年生整備計画に記載したが、実施できなかった				7 夜の刈心刀釘寺			
	住民参		-					都市再生素 都市再生素	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なま 体制の		<u> </u>					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2-2 地区の概要



まちの課題の変化

|地域活動の拠点となる施設整備によって、利便性向上から利用者数の増加が見られた。また、運動の行える大規模公園等の整備や提案事業により整備した地域スポーツ施設により、区民の健康づくりに寄与するスポーツ空間の確保を実 現した。また、災害時避難場所やオープンスペースとなる大規模公園の整備により避難場所が確保され、区道拡幅によって避難路の確保や緊急車両通行への対応などに効果が見られた。一方で、ソフト面では地域活動への参加へつなげ |る取り組みや、公園・広場の利用ルールの改善、ハード面では防災まちづくりの今後の取り組みなどが課題として見られる。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む) ・本計画により整備された施設の適正な維持・管理

・新たな公益活動・区民活動の担い手の掘り起こしのための支援

・施設の継続利用の促進、スポーツ・健康づくりの機運醸成

・防災まちづくりのさらなる推進